

広報部

1. 広報部の概要

会員への情報提供および、診断士の知名度アップと県協会のブランド価値向上のために、企業・支援機関へのアピールを行います。また広報活動を活発にするため、広報部員を会員から募り、全員参加の広報体制を構築します。

(1) 会員広報

- ①ホームページの「会員専用ページ」による、各種規定類、会員向けサービス、会議室貸し出しサービス（4階・5階の予約状況がわかる）、研究会活動の詳細などの随時広報
- ②フェイスブックによる月次定例会や各種イベント開催時の実況広報および告知等
- ③会報「診断士さいたま」による年度活動報告
- ④協会報「和さいたま」を創刊

(2) 対外広報

- ①情報発信：
 - ・ホームページによる、中小企業経営者、中小企業支援機関向け情報提供
 - ・企業診断ニュースへの県協会活動の告知・報告
- ②執筆：埼玉新聞、帝国ニュース等への寄稿
- ③PR活動としてのテレビ埼玉等のメディアへの協賛（埼玉ビジネスウォッチ・CM、埼玉新聞等）

(3) 企画広報

- ①展示会：彩の国ビジネスアリーナ（展示・相談会）、暮らしと事業のよろず相談会等
- ②動画コンテンツの作成（上記の展示会などで活用）

2. 2020年度の活動実績

(1) ホームページでの情報公開の拡充

会員や外部からのアクセスの利便性を高め、アーカイブ機能もさらに充実させました。特に会員向けは「診断士さいたま最新版」に合わせたコンテンツに更新しました。

(2) 協会報「和さいたま」の創刊

協会動向等の情報発信や会員同士のコミュニケーション活性化を目的に、コミュニティ会報誌を10月に創刊しました。年4回発行、会員限定、Webのみで発信しています。ロゴの『和』は「人の和（わ）」や「なごみ」を表しています。



(3) Facebookを活用した広報活動

Facebookにおいて、定例会やイベントの状況や各種告知をタイムリーにアップし、ホームページからもリンクしています。

(4) 「診断士さいたま」の発行

2020年度の活動内容、研究会及び新入会員を紹介する「診断士さいたま」を発行し、配布しました。

(5) 埼玉新聞への掲載

埼玉新聞経済欄に「中小企業診断士による経営Q&A」と題して、中小企業経営に関する記事の掲載を月1回継続しています。地域における中小企業診断士の認知度向上・イメージアップを図るPR活動と同時に会員への執筆機会の提供となっています。

(6) 帝国データバンク「TEIKOKU NEWS 埼玉県版」への記事協力

帝国データバンクのTEIKOKU NEWS 埼玉県版に「中小企業診断士の視点」と題して、起業創業・補助金・事業再生・新規事業開発・事業承継・人材育成などの経営課題について、中小企業診断士の活用や支援の事例に関する記事を寄稿しています。

(7) 「企業診断ニュース」にてレポート発信

毎月の「企業診断ニュース」及び別冊11・12号にて、県協会の活動報告として、定例会&研究会報告、プロコン塾やステップアップ研修、受託事業、他の団体との連携など情報提供を行いました。

(8) テレビ埼玉での放映

毎週土曜日放送の「埼玉ビジネスウォッチ」にて、高澤会長が「タカザワ経営塾」というコーナーに4回登場しました。また、昨年度に続き、テレビCMの放映を行いました。

(9) 日刊工業新聞への広告掲載

11月4日の「中小企業診断士の日」に合わせて広告記事を掲載した。

(10) オンライン彩の国ビジネスアリーナへの動画出展

2021年1月8日から2月8日まで開催の「彩の国ビジネスアリーナ」はコロナ禍でオンラインとなり、動画を出展し、情報提供を行いました。



3. 広報部員の紹介

広報部は理事4名と部員12名によるタイムリーかつ会員参加の場にもなる広報活動を目指します。

【部員】浅井航、梅津充幸、小原久明、北田健太、小林健了、佐久間俊雄、高橋利忠、西館和則、荒川孝行、岸則行、栗原正幸、仲野祐史

【理事】加藤清孝、齋藤裕子、高重和枝、中内善文

部の活動を通して、皆さまへのタイムリーな情報発信や、診断士の知名度向上に貢献していきたいと思っております。自身も、寄稿記事や研究会の成果報告など、最新かつ重要な情報に触れる機会が多く、とても貴重な経験をしていると感じています。（広報部員 仲野 祐史）